

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)

【公開番号】特開 2007-176612 (P2007-176612A)
 【公開日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-026
 【出願番号】特願 2005-374063 (P2005-374063)
 【国際特許分類】

B 6 5 H 35/07 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 35/07 N

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粘着テープの粘着面を粘着 / 仮留めする仮留め部と、該仮留め部に近接して設けられた切断刃とを有する粘着テープカッターであって、

前記切断刃は、第 1 の面と第 2 の面とがなす直線状の稜線と、該稜線を分断する複数のスリットとを備えるものであることを特徴とする粘着テープカッター。

【請求項 2】

前記スリットの開口幅を 0 . 3 m m ~ 1 . 0 m m としたことを特徴とする、請求項 1 に記載の粘着テープカッター。

【請求項 3】

前記仮留め部が前記第 1 の面に形成されたことを特徴とする、請求項 1 または請求項 2 に記載の粘着テープカッター。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

このような課題を解決するために、本発明の請求項 1 は、粘着テープの粘着面を粘着 / 仮留めする仮留め部 5 と、該仮留め部に近接して設けられた切断刃 6 とを有する粘着テープカッター 7 において、切断刃を、第 1 の面 (H) と第 2 の面 (V) とがなす直線状の稜線 (刃先線 8) と、該稜線を分断する複数のスリット 9 とを備えることを特徴とするものとした。また請求項 2 においては、上記構成に加えて、スリットの開口幅を 0 . 3 m m ~ 1 . 0 m m とするものとした。また請求項 3 においては、上記構成に加えて、仮留め部 5 が第 1 の面 (H) に形成されたものとした。